



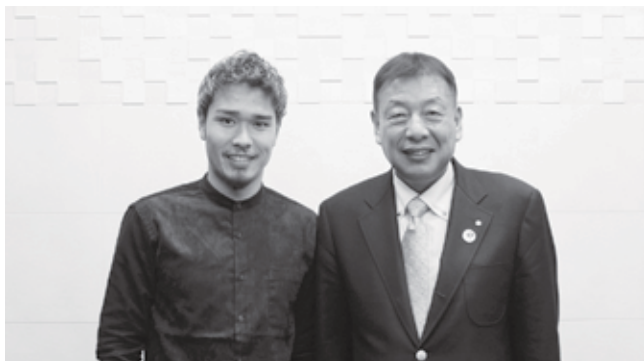
大好評だったカモメのえさやり

12/22 有明フェリーで婚活
「クリスマスクルーズパーティ in 長洲町」を開催

荒尾・玉名地域結婚サポートセンター KOIBANA は、婚活イベント「クリスマスクルーズパーティ in 長洲町」を開催しました。

毎年大人気のこのイベントには、男性 40 人、女性 40 人の計 80 人が参加。この日は有明フェリー「サンライズ号」を貸し切るという特別な空間で、年代別の 1 対 1 トークや誰とでもお話できるフリートークなどを楽しみました。

今回は、クリスマスを前に 8 組のカップルが誕生しました。



中逸町長に結果を報告した池上さん（左）

12/27 プロサッカー選手が表敬訪問
J2 レノファ山口 FC 池上丈二選手

J リーグ J 2 のレノファ山口 FC に所属する池上丈二さん（建浜区）は、町役場を訪れ、2019 年シーズンの結果を町長に報告しました。

池上さんは、小学生時代は町内のクラブチーム「バレイア SC」に所属し、2017 年にレノファ山口 FC に入団。チームは、前年の 8 位から順位を落とし 15 位という結果に終わりました。

シーズンを振り返った池上さんは、「昨年のけがが響いて、チームに迷惑をかけてしまった。シーズンのスタートから出場できるように頑張りたいです」と意気込みを語りました。



全国大会出場を報告した黒石さん（左から 2 人目）と前田さん（右から 2 人目）

12/18 第 47 回マーチングバンド全国大会出場
大牟田高等学校吹奏楽部の生徒が表敬

黒石皓平さん（腹赤区）と前田美月さん（出町区）は、町役場を訪れ、第 47 回マーチングバンド全国大会に出場したことを報告しました。

黒石さんと前田さんは、全国的に名をはせる大牟田高等学校吹奏楽部に在籍。同部には堀本沙希さん（向野区）も在籍し、12 月 15 日にさいたまスーパーアリーナで開催された同大会にともに出場し、銀賞を受賞しました。

また、12 月 21 日には、ながす未来館で「第 1 回有明地区プラス・フェスタ」を開催しました。同部にとって、本町で初めての単独の演奏会開催ということで、会場には満員の 600 人を超える来場があり、立ち見をする人もいるなど、多くの人を魅了しました。



ミニ門松を寄贈したボーイスカウトの皆さん

12/25 よい 1 年になりますように
ボーイスカウト長洲第 1 団がミニ門松を寄贈

日本ボーイスカウト熊本県連盟長洲第 1 団（入口秀記団委員長）は町役場を訪れ、町・町議会・町教育委員会などに手作りのミニ門松を贈呈しました。

この日贈呈されたミニ門松は、12 月 22 日に同団体と町青少年育成町民会議が共同で作製したもので、ことしで 6 年目の取り組みとなります。

ミニ門松を受け取った中逸町長は「毎年、届けてくれてありがとうございます。ボーイスカウトの活動を通して、多くの人と交流し世界に羽ばたいてほしい」と感謝の言葉を述べました。



保健師の話真剣に聞く参加者の皆さん

1/20 福祉事業所で性教育開催 性について正しく知ろう！

NPO 法人スローすてっぷ(松岡友美代表)は、同事業所を利用する児童・生徒の保護者(ママ友の会)、また、町内事業所の職員を対象に性教育を行いました。

同団体は、地域における人の居場所づくりや福祉サービス事業を展開しており、この日は、町保健センターの保健師と町在住の助産師を講師に招き、性に関する基本的な話や参加者が抱える悩み・質問などを聞き、みんなで共有しました。

参加者からは「改めて、性教育が大事だということがわかった」、「自分の子への対応の参考にしたい」などの感想が聞かれました。



資料やカルタを使いながら楽しむ参加者

1/12 健康で長生きするために 食育カルタで健康講話

鷺巣区(城戸邦晴区長)は、鷺巣区公民館で健康講話を開催しました。

この日は、区民約30人が参加。町保健センターの管理栄養士が講師となり、クイズ形式の食育カルタを使って、食品の特徴などを学びました。

その後、「健康で長生きするためのかしこい食べ方」についての講話を聞き、自分の栄養状態を確認したり、これから食べたほうが良い食品などについて学びました。

参加者した人たちは、「カルタなどで楽しみながら、ためになる話を聞けてよかった」と話しました。



全国大会出場を報告した荒尾JBBCの皆さん

1/7 全国大会出場を報告 軟式野球チーム「荒尾JBBC」が全国へ挑戦

荒尾市を拠点に活動する荒尾JBBC(土山善輝監督)は、10月に開催された第11回全日本春季少年軟式野球熊本県大会で優勝し、熊本県代表の座を勝ち取りました。

32チームの参加があったこの大会で優勝した同チームは、3月21日から26日にかけて開催される「文部科学大臣杯第11回全日本少年春季軟式野球大会」に出場します。

なお、町内在住者は次のとおりです。(敬称略)

監督 土山 善輝(赤田区)
主将 平木 慶音(下東区)
選手 野田 翔斗(宝町区)
野村 峻太(磯町区)
尾上 蓮太(下東区)



子どもたちに指導する中村さん(左)

1/4 Jリーグユース監督が指導 長洲にここにクラブがサッカー教室を開催

NPO 法人長洲にここにクラブ(宮原利興理事長)は、町出身でJリーグの鹿島アントラーズユース監督を務める中村幸聖さんを講師に招き、町総合スポーツセンターグラウンドでサッカー教室を開催しました。

中村さんは、腹栄中学校・大津高校を卒業後鹿島アントラーズに入団。2006年に現役引退後は、指導者として2014年度U-15クラブユース選手権で優勝するなどの輝かしい実績を残しています。

ことしで5回目となる同教室では、約40人の小・中学生が参加し、相手との駆け引きなどの専門的な技術やミニゲームを行い、技術の向上を図りました。



勢いよくスタートする選手たち



最優秀賞の加藤さん



敢闘賞の横尾さん(左)と正留さん(右)

1/13 225人が健脚を競う 第44回長洲マラソン大会

町体育協会(浦邊朝章会長)は、町総合スポーツセンターをスタート・ゴールに、新春恒例の長洲マラソン大会を開催しました。

ことしは、県内外から225人の選手が参加し、各部門で白熱した走りが展開され、フレンドリーシップ部門では、親子で楽しく走る姿が見られました。なお、結果は次のとおりです。(敬称略)

最優秀選手 加藤 純平

敢闘賞(男子) 正留 駿(腹栄中学校)

敢闘賞(女子) 横尾 悠(長洲中学校)

	女子3km	中学5km	一般5km	高校10km	一般10km
1位	堀 愛菜 玉名中学校 10分23秒	山瀬 美大 玉南中学校 16分24秒	西 一貴 16分29秒	野田 崇央 開新高校 30分52秒	加藤 純平 30分41秒
2位	山下 紗瑛 三加和中学校 10分29秒	黒肥地健琉 南関中学校 17分07秒	山崎 義幸 九州電力 17分04秒	花山 海斗 開新高校 31分18秒	有田 大將 ARITA UNITED 31分53秒
3位	本田心七海 玉陵中学校 10分52秒	増永 一心 玉名中学校 17分08秒	松田 賢一 17分19秒	山瀬 大孝 熊本工業高校 31分55秒	津留健太郎 formula K 32分41秒



丁寧に編み上げられていく的

1/12 伝統ある的ばかいに向けて ことしも立派な的が完成

的ばかい保存会(北野誠司会長)は、磯町区介護予防拠点施設「磯の館」で、的ばかいの的づくりを行いました。

当日の作業には、地域住民など約20人が参加。もち米のわらを縄状にねじり、直径約60cm、重さ約6Kgの的が約2日間かけて編み上げられました。



真剣に品定めをする参加者

1/9 九州で唯一 金魚とコイの初競り

長洲観賞競売場(福永誠二代表)は、村木養魚場で金魚とコイの初競りを開催しました。

この日は、九州内外から業者や愛好家など約60人が参加し、屋内の水路をカゴに入って流れる金魚とコイを競り合いました。

この初競りに出品されたのは金魚やニシキゴイなど合わせて約1万匹で、最高額は金魚が約35cmの「ジャンボシガシラ」で21,500円、ニシキゴイは約70cmの「大正三色」で93,000円でした。



町の代表としてタスキをつなぐ

第44回玉名駅伝大会

和水町総合体育館をスタート・ゴールとするコース（10 区間 41.5km）で、第44回玉名駅伝大会が開催され、町からも選抜された選手たちが参加しました。町チームは、代表選手が一丸となり最後までタスキをつなげ、10 位でゴールしました。

なお、出場した選手は次のとおりです。（敬称略）

	氏 名	行政区
監 督	鈴木 康博	新町
マネージャー	宅島 直希	西荒神
1 区 (5.3Km)	城戸 英二	宮崎
2 区 (3.2Km)	植原 華望	向野
3 区 (5.6Km)	上田 聖人	葛輪
4 区 (3.5Km)	正留 駿	宮崎
5 区 (5.1Km)	大岡 亮介	梅田
6 区 (2.5Km)	横尾 悠	梅田
7 区 (3.3Km)	永田 耕司	松原
8 区 (4.2Km)	石川 勉	大明神
9 区 (3.3Km)	濱邊 颯	東荒神
10 区 (5.5Km)	土田 京介	赤田



勢いよくスタートを切る 1 区の選手

	氏 名	行政区
補 員	荒木 心音	腹赤
	近藤 楓	宮ノ町
	中東 透哉	折地
	草野しずく	梅田
	松浦 智尋	松原



体力向上に地道に取り組んだ成果

腹栄中学校が数々の賞を受賞

腹栄中学校（松永光親校長）は、町役場を訪れ、県体力向上優良校などの賞を受賞したことを報告しました。

県体力向上優良校

県内の公立学校において、体力向上に取り組んだ成果が優良である学校に贈られる賞で、県内の中学校では 21 校が受賞しました。

同校は、昨年度受賞した優秀実践校として、継続して体育科の授業で、基礎体力をつけるために、生徒たちが自発的に筋力・持久力の強化に取り組んでいます。また、課題を捉え、目標達成に向けて意欲的に取り組んだ成果がこのたびの受賞となりました。

毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト優秀賞

全国の学校における体力向上の取り組みの中で、中学 3 年生の男女の体力向上が特に優秀な成果があった学校を毎日新聞社とスポーツ庁などが表彰するもので、全国の約 11,000 校あるうち 4,142 校が応募し、優秀校 5 校のうちの 1 校に選ばれました。



受賞の報告をした松永校長（左から 2 人目）、土田教諭（中央）、体育委員長の前田美侑さん（右から 2 人目）

文部科学大臣 優秀教職員

全国の国公立学校の現職の教職員で、優れた成果を上げた教職員に対して文部科学大臣が表彰を行うもので、本年度の被表彰教職員 825 人のうち県内では 10 人が選ばれ、同校の土田健史教諭が選ばれました。

土田教諭は、同校が昨年度受賞した全国体力向上優秀実践校や本年度受賞した県体力向上優良校などに多大な尽力・貢献したことが評価され、このたびの受賞となりました。



優秀教職員を受賞した土田教諭（右から 2 人目）